

岡山県信用保証協会と TKC中国会岡山県支部との トップ対談を実施しました！

～3月3日より岡山県信用保証協会でもMIS利用開始しましたので申述ください～

とき

令和8年3月3日（火）14:30～15:30

参加者

（敬称略）



<岡山県信用保証協会>

会長 横田有次
常務理事 石井智博
担当部長 棗田秀治
業務統括課 山本理佐

<TKC中国会岡山県支部>

中国会専務理事 宇野元浩
岡山県支部長 江見匡史
同 副支部長 井原祥雅
同 中小企業支援委員長 大澤和弘
TKC岡山SCGサービスセンター
センター長 西田宏也



写真：左から江見支部長、宇野専務理事、横田会長、石井常務理事、棗田担当部長

◆◆◆ 岡山県信用保証協会より ◆◆◆

MIS利用開始にあたって

協会の保証先は約2万件で、その約7割が法人です。これまでは限られた体制の中、目先の資金繰り支援が中心でしたが、金融庁による予兆管理の方針や協会内のインフラ整備が進んだこともあり、MISを活用できる環境が整いました。TKC会員事務所には、月次巡回監査に基づく事業者支援とMIS利用促進を期待しています。

TKC会員事務所に対する期待

今後、協会として予兆管理に力を入れていきたいと考えています。TKC会員事務所が経営助言に注力している点は心強く、数字への意識付けが難しい事業者に対し、TKCクラウド会計による気付きと、厳しくも的確な助言に期待しています。言うべきことを伝える税理士の存在は貴重であり、連携を通じて利用先の健全経営につなげたいと考えています。

◆◆◆ TKC岡山県支部より ◆◆◆

MISについて

MISのお申込み誠にありがとうございます。TKC会員事務所では、毎月の巡回監査と月次締めを行うことで、取引内容を後から改ざんできない信頼性の高い会計体制を構築しています。その体制を一年間継続したうえで決算・申告を行い、電子申告と同時に同一の決算書・申告書等が岡山県信用保証協会へ届く仕組みがMISです。MISでは記帳適時性証明書や月次決算報告シートにより、月次管理状況や取引内容の推移を具体的に確認することができます。

金融機関との連携について

TKC岡山県支部は、県内ほぼすべての金融機関と覚書を締結しています。中国銀行とは、MISによる月次試算表提供を条件に金利優遇が受けられる専用融資商品を創設しました。日本政策金融公庫とも「TKCファクトリンク」を開発しました。今後は関係機関と連携し事業者支援を進めていきます。

TKC会員事務所による経営助言について

毎月、取引内容を確認し締めた試算表に基づき、現状を数字で把握し行動を促しています。年1回ではなく毎月数字を見ることで結果は大きく変わります。国税庁の黒字申告割合が約3割であるのに対し、TKC会員関与先の黒字決算割合は5割以上と高く、業績管理メニューを見る回数が多いほど黒字割合が高いこともわかっています。